

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名： 西村 弥子

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収書 番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R6. 7. 4～5	R6. 7. 4 10:30～ 15:00	和 歌 山 県 橋 本 市	学校法人きのくに 子どもの村学園	副学園長・ 様、 他職員の皆様	公教育改革に 関する視察調 査	活動報告（県 外）のとおり
	R6. 7. 5 10:00～ 15:30			学園長・ 様 他職員の皆様		
	R6. 8. 8	鳥取市	議会棟	議会事務局・県執行 部等関係職員	執行部レク インド勉強会 執行部レク	8-4, 8-5
	R6. 9. 3	鳥取市	議会棟	議会事務局・県執行 部等関係職員	9月定例会 主要事業説明 会(政調・政審)	9-2
R6. 10. 18 ～19	R6. 10. 19 8:40～ 12:30	鳥取市	鳥取県立布勢総合 運動公園	ねんりんピック事務 局等	ねんりんピッ ク開会式	10-5
R6. 10. 21 ～22	R6. 10. 22 9:00～ 11:00	鳥取市	議会棟	教育委員会 小中学校課他	本県の教育方 針・内容・課題 等について	10-8, 10-9, 10-10
	R6. 10. 22 12:15～ 14:10	鳥取市	鳥取県立布勢総合 運動公園	ねんりんピック事務 局等	ねんりんピッ ク閉会式	10-6, 10-7
	R6. 11. 19	鳥取市	議会棟	議会事務局・県執行 部等関係職員	11月定例会 主要事業説明 会(政調・政審)	11-4, 11-5, 11-6
	R7. 1. 21 10:00～ 16:30	東 京 都 新宿区	リファレンス 西新宿大京ビル	地方議員研究会 CKセミナー事務局	財政基礎研修	活動報告（県 外）のとおり
	R7. 3. 29	米子市	米子コンベン ションセンター	県民 約 40 名	県政報告・意見 交換会	2-6, 3-6

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告 (県 外)

議員名： 西村 弥子

活 動 事 項	きのくに子どもの村小学校・中学校 (学校法人きのくに子どもの村学園)
活 動 年 月 日	令和6年7月4日(木)～7月5日(金)
場 所	学校法人きのくに子どもの村学園 和歌山県橋本市彦谷 51
活動の相手方	学園長・■■■■様、副学園長・■■■■様、他職員の皆様、生徒達
活 動 の 目 的	【目的】 ・子どもの自己決定力を育み、社会を醸成する「これからの公教育の在り方」を学ぶため ・「子どもの自治」を実現する学校教育・運営の方針等を学ぶため
活 動 の 内 容	【内容】 ・1日目：■■■■副学園長より学校教育方針の説明と校内施設見学、「工務店・喫茶店」等、自由学習・探求学習成果の体験 ・2日前：英語授業体験、全校ミーティングのオブザーブ、■■■■学園長の実績とお考えを直接お聞きし、意見交換
活 動 の 結 果 等	【結果(成果)等 知りえたこと】 ・小学校開校：1992年4月(中学校は1994年4月)。旧彦谷小学校の廃校舎を利用し開校。施設の整備など、およそ2億円が初期費用。 ・英キングスミューア小学校(サマーヒルスクール・A.S. ニール)がモデル。 ・自由な子供を育てる。①感情面の自由(自己意識、自己肯定感、自信をもって生きる子)②知性の自由(疑問、課題意識を持ち、知的探求態度・力を伸ばす)③人間関係の自由(既定の道徳教育ではなく、心理的自立、皆と目標の共有、役割分担・問題解決体験を通し、共に生きる喜びと人間関係の術を学ぶ)※迷惑がわかり、公平性を持ち協働する子を育てる ・基本方針①自己決定の原則：子ども達が自分で選択し、色々なことを決める。そのためのクラス、全校でのミーティングを大切にする②個性化の原則：一人ひとりの違いを大切に、同じ答えを出すのではなく、個性、個人差を尊重する。いじめ問題もオープンに、皆で解決。③体験学習の原則：直接体験や実生活学習の中心。基礎学習とプロジェクトと呼ばれる選択型の実体験学習からなる。「工務店」子ども達が敷地内に建てたツリーハウスなど6・7棟の建物あり。「喫茶店」週一回子ども達が運営する。客人へカレーセットの提供800円。 ・全寮制。平日は学校、週末は原則帰宅。全国に系列校5校。入校待ちが後を絶たない。 ●すべての時間が「探求学習」だ。AIやICTなどDX社会、インターネットやSNSで膨大な情報が氾濫する昨今、未曾有の人口減少・少子化の一方で、いじめや不登校は増え、学校現場の課題は複雑化して教員不足、教員の疲弊や様々な問題を生む。法や学習指導要領にも縛られ、社会の歪みが学校現場に影響している。国の教育予算を大幅に増やし、教員の負担を減らし児童生徒に笑顔をもたらすために、こうした自由教育を参考に、今こそ「公教育の中身・学校が変わる必要がある」と強く感じた。子どもも大人も楽しい学校。地域課題の解決に向けて、公の学校改革の参考にしたい。
関連領収書番号	7-3, 7-4, 7-5, 7-6, 7-7, 7-8

活 動 報 告（県外）

議員名： 西村 弥子

活 動 事 項	人口減少時代の自治体財政 (主催 地方議員研究会)
活 動 年 月 日	令和7年1月21日(木)
場 所	リファレンス西新宿大京ビル 東京都新宿区西新宿7丁目21-3
活動の相手方	講師：立命館大学政策科学部教授、博士 XXXXXXXXXX 地方議員研究会
活 動 の 目 的	【目的】 地方自治体の財政について、公共事業・地域政策・社会資本等を熟知した専門家による講義から、わかりにくい地方財政を改めて学び、情報を整理し、新たな知見を得るため
活 動 の 内 容	【内容】 ・10:00～12:30 世界一わかる財政基礎研修① 財政の本質、制度、地方交付税、新年度の財政措置、質疑応答等 ・14:00～16:30 世界一わかる財政基礎研修② 自分の街の客観的な財政の見方、ポイント、質疑応答等
活 動 の 結 果 等	【結果（成果）等】 ●日本の人口は、2008年1億2,808万人をピークに減少に転じ、2020年1億2,615万人→2040年1億1,284万人→2070年8,700万人と、50年間で32%減少（厚労省）という推移と予測から、各自治体の財政がどのように変化していくかを押さえることが出発点。 ●地方議会の役割は1. 予算の決定 2. 価値（大切なもの）の発展。大切なのは住民サービスの実施方針（予算）であり、決算ではない。議会で話し合い、行政が実施する。住民は「予算」を通じてしか行政の活動を管理できないため、議員は本質を具体的に見抜くことが肝。 ●自治体の歳入を一貫して家計に例え、わかりやすく説明された。使い道の自由な「一般財源」＝地方税、地方交付税等 使い道の決まった「特定財源」＝国庫支出金、地方債等 一般財源は人口と密接に関連し最も重要。少なければ、特定財源が入ってこない。自治体の財政指標すべてが一般財源で判断される。 「地方交付税」はペットボトルにつぎ込まれるお茶。 ペットボトルの大きさは人口規模で決まる（本県は最小となる） ●令和7年度特別交付税措置等、国の情報提供があり、県議会2月定例会の一般質問に活かせる内容だった。
関連領収書番号	1-4